

第19回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会「敦煌莫高窟の保存」

(The 19th International Symposium on the Conservation and Restoration of Cultural Property—The Conservation of Dunhuang Mogao Grottoes and the Related Studies—)

シルクロードの中心的仏教遺跡であり、人類の貴重な文化遺産である敦煌莫高窟の保存に関するシンポジウムである。東京国立文化財研究所と中国・敦煌研究院は、1986（昭和61）年以降、敦煌莫高窟保存の国際共同研究を行ってきている。1990（平成2）年12月に調印した合意書に基づいて平成3年度よりスタートした第1次5カ年研究計画の最終年である平成7年度に、本共同研究の一環として国際シンポジウムを開催した。シンポジウムでは、日中共同研究をはじめとした敦煌莫高窟保存に関わる研究の成果ならびに問題点について、既発表のものも含めた総合的な発表、討議を行い、国際的規模での議論を通して、恒久的保存対策の策定に向けての展望を探った。シンポジウムには中国の専門家はもとより、石窟壁画の保存に関わっている世界の専門家を招聘し、幅広い討議を行う場とし、シルクロードの東の終着点である奈良で開催した。

日程：1996（平成8）年2月1～3日（4日：公開シンポジウム）

会場：奈良県新公会堂

2月1日

第1セッション

	発表者	演題
1	段文傑（敦煌研究院）	〔基調講演〕莫高窟保存の歴史（The History of Conservation of Mogao Grottoes）
2	樊錦詩（敦煌研究院）	〔基調講演〕莫高窟保存のための共同研究（Preservation through Cooperation at Dunhuang's Mogao Grottoes）
3	西浦忠輝（東京国立文化財研究所）	〔基調講演〕莫高窟保存への展望—シンポジウム開催にあたって—（An Overview for the Conservation of Mogao Grottoes: Aim and Procedure of the Symposium）
第2セッション（1）：地形、地質と石窟の環境（Topographical, Geological and Environmental Condition of Grottoes〔1〕）		
1	福田正己（北海道大学）	敦煌付近の過去2000年の環境変動について（Environmental Changes in the Dunhuang Area in Past 2000yBP）
2	高橋英紀（北海道大学）	敦煌の気候（Climate of Dunhuang Area, China）
3	前川信（アメリカ・ゲティ保存研究所）	莫高窟の気象（The Climate and Micro-Climates of Caves at the Mogao Grottoes）

4	張擁軍 (敦煌研究院)	莫高窟の微気象 (Analysis on the Micro-Environment of the Mogao Caves)
5	朽津信明 (東京国立文化財研究所)	莫高窟における蒸発量と壁画の塩類風化 (Evaporation and Salt Efflorescence of the Mural Paintings in the Mogao Grottoes)

2月2日

第2セッション (2) : 地形、地質と石窟の環境 (Topographical, Geological and Environmental Condition of Grottoes [2])

	発表者	演題
1	Jacques Brunet (フランス歴史記念物研究所)	洞窟壁画の環境保護：コンバレーユ洞窟における応用 (The Procedures for the Environmental Protection of Decorated Caves: Application to the Combarelles Site [Les Eyzies, France])
2	Po-Ming Lin (アメリカ・ゲティ保存研究所)	莫高窟における砂対策 (Measures for Controlling Sand Migration and Erosion at the Mogao Grottoes)

第3セッション：石窟の構造的安定化 (Structural Stabilization of Grottoes)

1	黄克忠 (中国文物研究所)	中国における石窟の保存 (A Review of the Grotto Conservation Methods in China)
2	Robert E. Englekirk (アメリカ・地盤工学コンサルタント)	莫高窟における地盤工学的問題点 (Geotechnical Issues in the Conservation of the Dunhuang Mogao Grottoes)
3	Gerd Gudehus (カールスルーヘ大学)	大仏寺石窟の構造的安定化 (Structural Stabilization of DaFoSi Grotto)
4	李最雄 (敦煌研究院)	岩体強化用PS-Fグラウティング材の物性 (Some Further Studies on the Use of PS-F as a Grouting Mixture)
5	馬家郁 (四川省考古研究所)	樂山大仏の修復材料<伝統材料と新材料> (Test and Research of Traditional Material and Substitute Material for Mending-up of Leshan Grand Buddha)

2月3日

第4セッション：壁画の強化と修復 (Consolidation and Restoration of Wall Paintings)

	発表者	演題
--	-----	----

1	増田勝彦（東京国立文化財研究所）	莫高窟壁画補修用擬土について（Reinforcing Materials for Wall Paintings of Dunhuang Mogao Grottoes）
2	O. P. Agrawal（インド保存研究所）	アジャンタ洞窟壁画の保存修復（Problems of Conservation of the Wall Paintings at Ajanta）
3	沢田正昭（奈良国立文化財研究所）	日本古代壁画の強化と修復（The Consolidation and the Restoration of Ancient Japanese Wall Paintings）
4	Eddy De Witte（ベルギー王立文化財研究所）	壁画修復用合成樹脂の物性（Characteristics of Synthetic Resins Used for Restoration of Mural Paintings）
第5セッション：総合討議：敦煌莫高窟保存の課題と今後の展望（Problems and Perspective of the Conservation of Mogao Grottoes）		